

小学校 4 年

ヒトの体のつくりを調べよう

吹田市立山田第二小学校

教科

理科

単元名

ヒトの体のつくりと運動

本単元で育む主な情報活用能力

D-STEP 2, H-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・ヒトの体には骨と筋肉があり、体を動かすことができるのは、骨や筋肉のはたらきによることを理解する。
 - ・観察、資料から調べることなどに関する技能を身につけ、主体的に問題解決する。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・ヒトやヒト以外の動物の骨、関節、筋肉についての資料などから情報を集める。
 - ・自分で集めた情報と他者の情報を共有し、1 つにまとめる。


単元における学習の展開（全 8 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (1 時間)	・運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようにになっているか、予想や仮説を立て、表現する。
第 2 次 (1 時間)	○体のつくり ・自分の体を触ったり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを調べる。 ・体の曲げられるところについて、他者とかかわりながら問題解決する。
第 3 次 (1 時間)	○体が動くしくみ ・ヒトの体には、骨と筋肉があり、ヒトが体を動かすことができるのは、骨や筋肉のはたらきによることを理解する。
第 4 次 (2 時間)	○動物の体のつくりとしくみ（☆） ・ヒト以外の体のつくりや、体を動かすしくみについて、資料を活用して調べ、ヒトと関係付けて考察し、自分の考えを表現する。
第 5 次 (2 時間)	○ヒトの骨や関節、筋肉のしくみ（☆）（本時） ・図書資料や、タブレットを活用し、ヒトの骨と関節、筋肉のつくりについて調べ、まとめる。
第 6 次 (1 時間)	○発表 ・調べたことを発表し、クラス全体で共有する。

本時のねらい

- ・骨や筋肉、関節のしくみについて、調べたことを 1 つにまとめる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (3 分)	1. 前時までの学習をふりかえる。 ・本時は自分で調べた後に、班でまとめることを知る。 ・班で決めた体の調べる場所の確認をする。	・本を一人一冊用意する。
展開 (39 分)	2. 各自で骨や関節、筋肉のつくりやしくみについて調べる。 ・本で、骨、関節、筋肉について調べてから、さらに知りたいことを、タブレットで調べる。 ・オクリンクに自分の調べたことを書いて提出する。 	・ヒトの体の拡大したポスターを用意する。 ・オクリンクの提出 Box を作成しておく。 ・班でまとめるためのワークシートを用意する。 ・全員がオクリンクに提出した後、班で 1 つにまとめることを伝える。 ・はじめに本で調べることを伝える。
	3. 調べた内容を班で 1 つにまとめる。 ・各自で調べたものを見ながら、どのようにまとめるか班で相談しワークシートにまとめる。	・机間指導する。 ・ある程度調べることができたら、インターネットで調べるよう声をかける。
まとめ (3 分)	4. ふりかえりと次時の学習の見通しをもつ。 ・全員の調べた内容が、まとめたものの中に入っているか確認する。 ・次回は仕上げて、班で発表することを知る。	・情報をまとめておくことで、班での話し合い時に、まとめやすいことを実感させる。 ・オクリンクに全員提出できているか確認する。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・前時に動物について調べた内容を、全員がオクリンクに提出したので、見通しをもって進めることができた。
- ・一人ひとりが主体的に調べ、まとめたことで、発表するときの聞く姿勢も培われた。



学校図書館や地域の図書館で借りた本で調べました。